

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		通常砂防		路河川名等		桑沢川				
事業毎の通番		5		市町村名		箕輪町				
事業目的		桑沢川は、土石流危険渓流Ⅰであり、昭和40年代に砂防堰堤がされているが、流域には不安定土砂の堆積や倒木が多く存在している。また保全対象区域には人家310戸(うち特別警戒区域内75戸)のほか、要配慮者利用施設2棟および県道、町道などの公共施設が立地している。そのため、土石流が発生した場合には、甚大な被害となるおそれがあることから、砂防堰堤を設置し、下流の人家や要配慮者利用施設および県道などの公共施設の保全を図る。		箇所名(ふりがな)		沢(さわ)				
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		砂防法				
関連する事業、計画等										
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家310戸、要配慮者利用施設2施設、県道、町道、最終処分場								
着手年度		平成28年度		事業期間		5年間				
完成年度(見込み)		平成32年度		費用対効果		52.6				
全体事業内容(主な工種)		砂防堰堤工 1基		事業費(千円)		国庫 250,000 其他 0 県債 225,000 一般財源 25,000				
年度事業内容(主な工種)		測量・設計・調査 1式		事業費(千円)		0 0 0 0				
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 人家310戸、要配慮者利用施設2施設、県道、町道、最終処分場								
		間接的効果(定量的・定性的)								
評価の視点	必要性	【保全人家】310戸 【保全対象】県道、町道、最終処分場 【要配慮者利用施設】重要施設1施設、一般施設1施設 【避難場所】なし					評価	A		
	重要性	【災害履歴】なし 【交通影響】県道2路線 【位置付け】地域防災計画の位置づけあり(土石流危険渓流)					評価	B		
	効率性	【費用対効果】B/C=52.6 【早期効果発現】事業期間:5年間 【工法等比較検討】砂防計画策定時に位置、形式等検討 【総合調整】治山事業と調整済み					評価	A		
	緊急性	【地形地質】地質は問題がないと思われる 【流域植生】放置林 【平均渓床勾配、土砂整備率】平均河床勾配5°、整備率55% 【危険地区】特別警戒区域指定あり					評価	B		
	計画熟度	【情報共有】関係者を中心に周知(箕輪町、辰野町) 【地域要望】地元地域からの要望あり 【合意形成】事業目的については合意形成が図られている 【住民参加】現時点で関与は低い					評価	C		
	部意見	当該渓流の保全対象には、人家310戸や要配慮者利用施設、県道等があり、速やかな土砂災害対策が必要であるものの公園混雑地域の課題があり整理が必要である。		行政改革課意見		流域内に不安定土砂や倒木が多数存在している。保全対象には人家、県道、町道、老人福祉施設があることから、必要性は認められるものの、計画熟度が低い。		評価結果	総合評価	O

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る 歴史的経緯・社会的背景	桑沢川の保全対象には、人家310戸、要配慮者利用施設2棟が立地しているほか、県道2路線や町道等の公共施設も多数存在している。そのため、土砂災害が発生した場合、甚大な被害となる恐れがあることから、砂防堰堤等の整備が必要となっている。	
②地域からの要望経緯 及び地域の関わり	土砂法に基づく特別警戒区域内に人家75戸、警戒区域内に人家310戸、要配慮者利用施設2施設が立地しているため、地元地域から砂防堰堤等の設置の要望を受けている。	
③事業説明等の経緯	事業実施が確定次第、地元説明会を開催する予定である。	
④他事業・プロジェクトとの 整合、関連		
⑤自然環境・生活環境への 影響と配慮	周辺環境への影響を抑えることを念頭に砂防設備の設計を進める予定である。	
⑥地域活性化への 影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 35° 56' 45" 東経:E 137° 57' 51"	

事業概要説明図表

事業周辺環境